

塾長の独り言 NO99 H20.5.19

「この一年間で自分自身が成長したこと、変わったことはどんなことがありますか？」

先日、顧問先の企業の研修の中で、上記のテーマで、A4一枚に図解して、発表してもらいました。どんな内容になるか不安でしたが、それぞれ参加メンバーは素晴らしい発表になりました。正直、ジーンと涙が出そうな嬉しいこともあり、社長もぐっと感動しているようでした。

以前、私のメルマガ経営のヒント118に「自分の仕事を前年比で評価せよ！」で書いています。

経営のヒント118 スターボックスに学べ！

自分の仕事を前年比で評価せよ！

「スターボックスに学べ！」ジョン・ムーア著...本にこんなことが書いていました！(p10)

自分の仕事を「前年比」で評価せよ！

意欲的なスターボックスのパートナーたちは、自分の仕事を前年と比較評価する人が多い。現時点の仕事ぶりとその前年の仕事を比較することで、職場に対して自分がどのように貢献しているのか詳しく評価することができるので、自分の仕事ぶりが上昇傾向にあるのか下降傾向にあるのか、総合的に判断することができる。

企業であれば、毎年4月から5月に一年間の振り返りを行うことがいいのではないのでしょうか？
新入社員が入ってくる。

部署移動、昇格、昇給といろいろな変化が起きると時です。

人間は誰でも「もっと成長したい！」という欲求があります。

しかし、従業員の能力開発は、社内研修や経営者の人材発見能力に依存しているだけではまったく不十分です。

自分の能力は自分で発見し開発する。

会社はその援助を行うことができる、が基本でしょう。

トップや経営陣は、従業員がもつ能力を存分に発揮し、成長することを期待しています。

しかし、経営陣が出来ることは、その環境を創ることだけです。

今回の経験から学んだことは、

自分自身を振り返る「場」を強制的にも設定することも重要なことだと感じました。

そして自分自身の言葉で、働く仲間の前で、発表すること。

承認と確認。

これをきっちりやると、次のスタートがスムーズに出来ます。

<コメント>

一年前に比べて……

自分自身の何が変わったか？

自分自身は一年間でどんなことを学んだか？

それが明確に分かると成長したことが「実感」できます。

成長したことを自分自身が喜び、上司が喜び、仲間が賞賛する！

そんな社風の組織には「強い愛着が自然に育まれるものですね。」

自分が成長出来る！「そんな仕事はハードでも楽しい！」

正確には「……仕事はハードだから楽しい」が重要なポイントですね。(理念と経営4月号より)